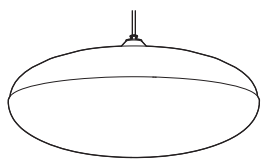


施工説明書

住宅用照明器具(ペンダント)



品番 LGBZ6111
LGBZ7111
LGBZ8111

- お客様へ** 器具の施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店、工事店に依頼してください。
- 工事店様へ** 施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。
- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

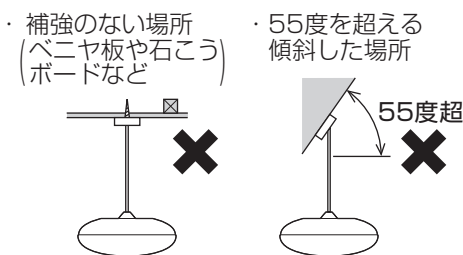
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

■取付面

- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

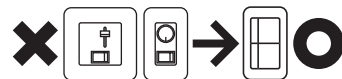


- 55度以下の傾斜天井に取り付ける場合は器具表示の指定方向に取り付けてください。指定方向以外に取り付けた場合、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- ◎この器具は天井面吊り下げ専用です。

■壁スイッチ

- 調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。

必ず守る



◎調光器の取り外しが必要です。

■その他

必ず守る

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実にを行う
取り付けに不備があると火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- 交流100ボルトで使用する
過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。
- 電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に差し込む
差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。
- スペーサと取付板は確実に取り付ける
木ネジの締め付けが不完全な場合、落下によるけがのおそれがあります。

⚠ 注意



●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
水ぬれ禁止 ○この器具は防湿、防雨型ではありません。



●下カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。
●器具の取り付け取り外しは手袋など
保護具を使用する
けがのおそれがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

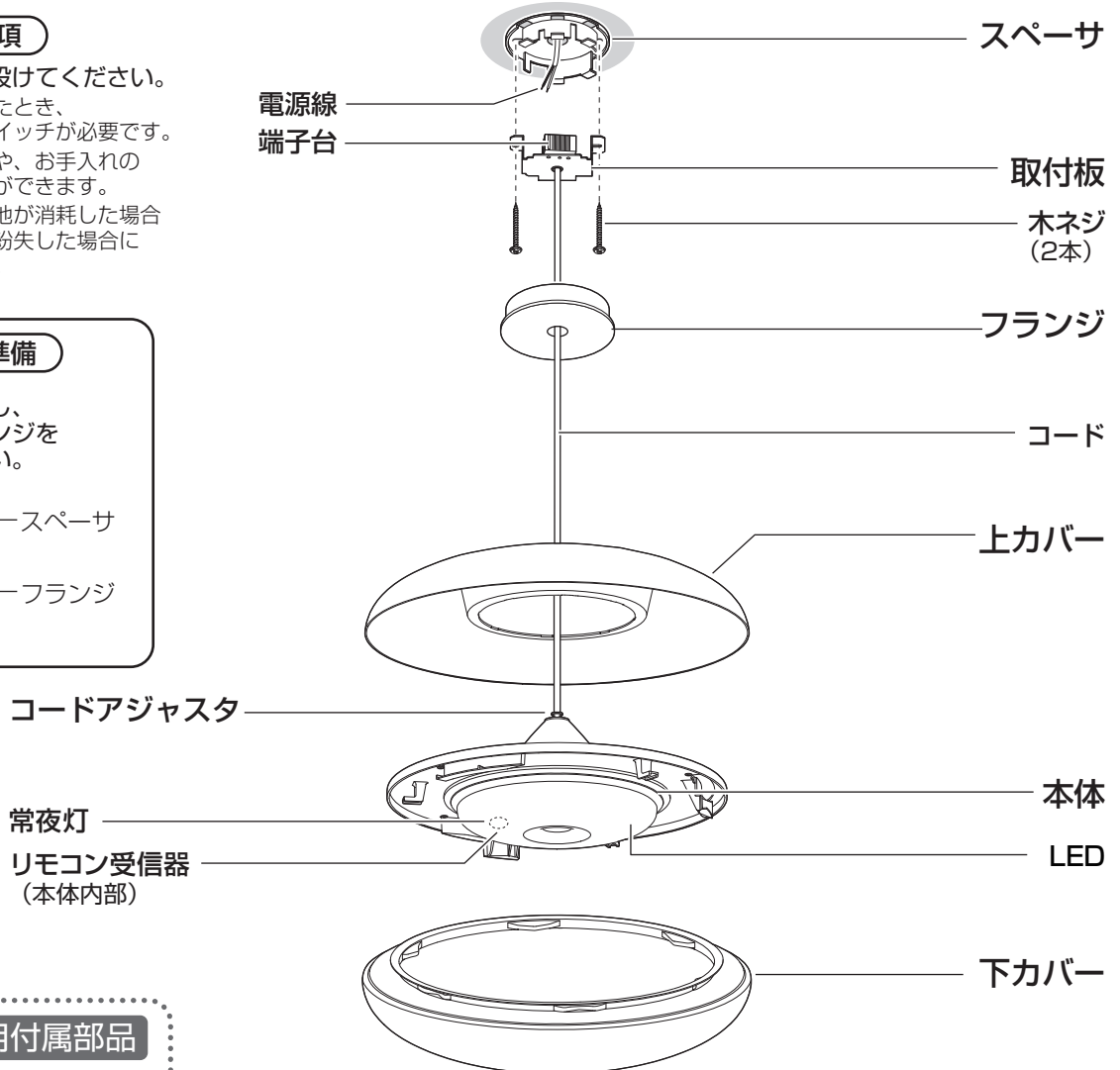
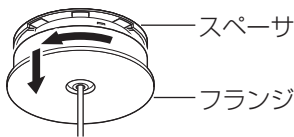
●器具の取り付けは、手袋など保護具を使用してください。

施工前のご確認事項

- 必ず壁スイッチを設けてください。
 - ・点灯に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
 - ・長期使用しないときや、お手入れの際に電源を切ることができます。
 - ・リモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができます。

取り付け前のご準備

- ・フランジを左に回し、スペーサからフランジを取り外してください。



器具取り付け用付属部品

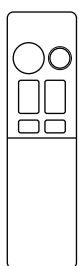


リモコン付属部品

必ずお客様にお渡しください

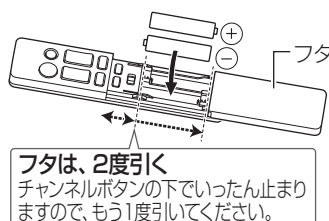
リモコン (1個)
補修品番 HK9493MM

操作方法は、「取扱説明書」参照

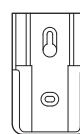


単4形乾電池 (2本)

- リモコンのフタを開けて、単4形乾電池を2本入れる。

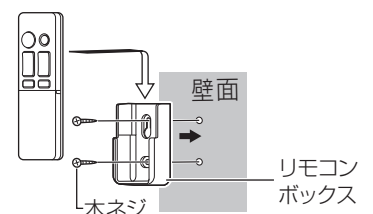


リモコンボックス (1個)



リモコンボックス用木ネジ (2本)

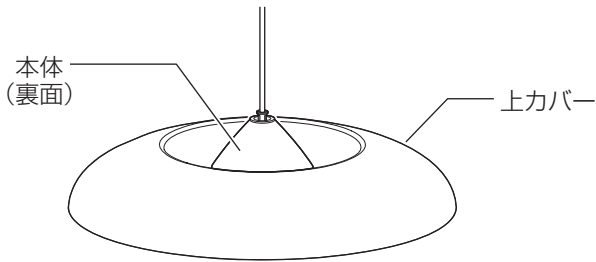
- リモコンボックスを使用して、紛失防止用に壁掛け収納できます。



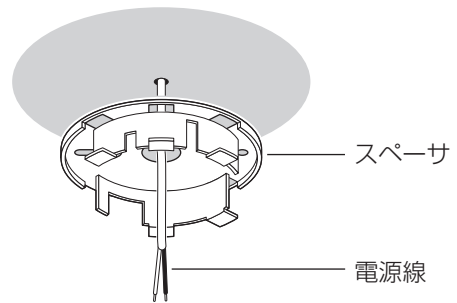
照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 本体に上カバーをのせる



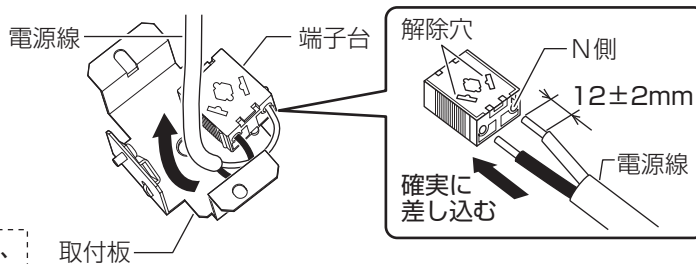
2 スペースに電源線を通す



3 端子台に電源線を接続する

・適合電線 VVFφ1.6、φ2.0単線

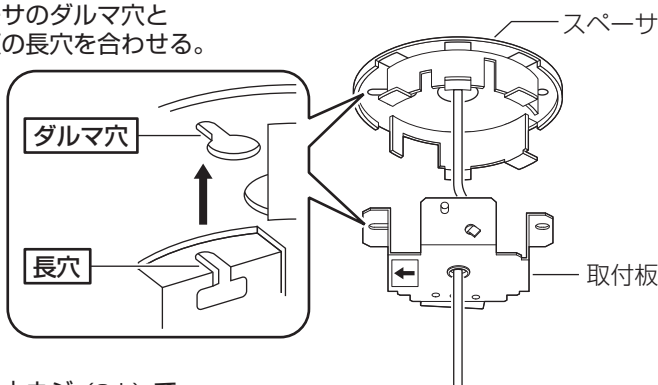
・電源線差し込み後、取付板の中央にくるように電源線を曲げてください。



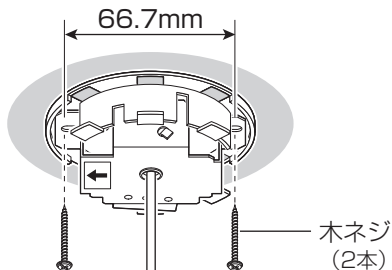
器具の取り替え等で電源線を外す場合は、マイナスドライバー等を解除穴に差し込みながら電源線を引き抜く。

4 天井面にスペースと取付板を取り付ける

①スペースのダルマ穴と取付板の長穴を合わせる。

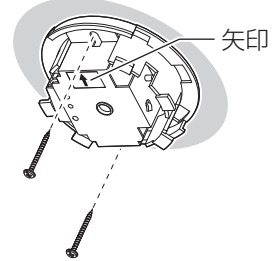


②付属の木ネジ (2本) でスペースと取付板を取り付ける。



55度以下の傾斜天井に取り付ける場合

・取付方向表示の矢印を天井の高い方に向けて取り付ける。



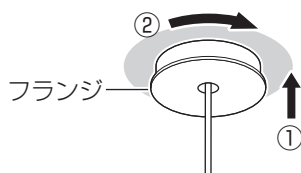
警告

必ず守る

- 55度以下の傾斜天井に取り付ける場合 器具表示の指定方向に取り付ける 指定方向以外に取り付けた場合、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
- スペースと取付板は確実に取り付ける 木ネジの締め付けが不完全な場合、落下によるけがのおそれがあります。

5 フランジを取り付ける

①天井面にフランジを押し上げる。
②フランジを止まるまで軽く右に回す。



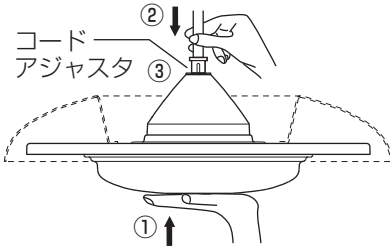
(次ページにつづく)

器具の高さを調節する場合は、コードの長さを調節してください (☞ 下記手順 **6** 参照)

6 コードの長さを調節する

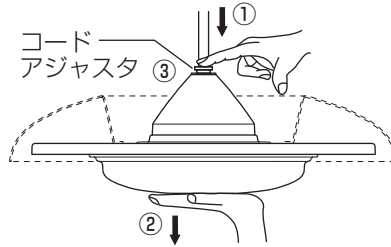
【短くする場合】

- ① 本体を持ち上げながら
- ② 本体内にコードを押し込む。
- ③ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。

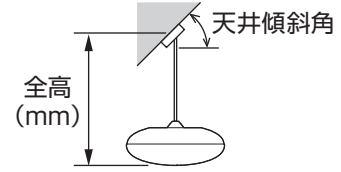


【長くする場合】

- ① コードアジャスタを押さえながら
- ② 本体を引き下げる。
- ③ 調節後、コードアジャスタを引き上げてコードを固定する。



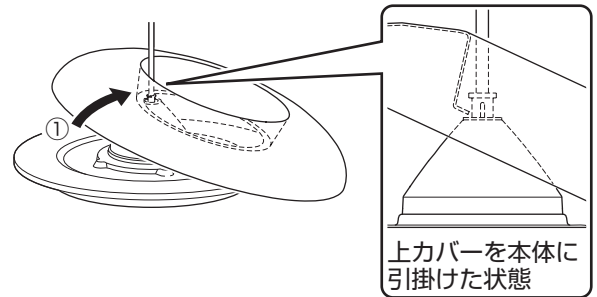
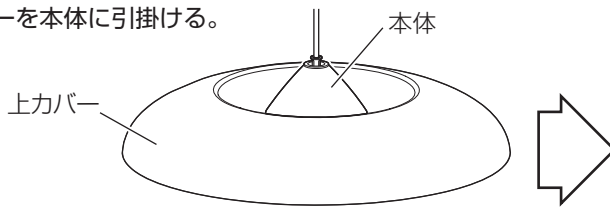
コード調節範囲



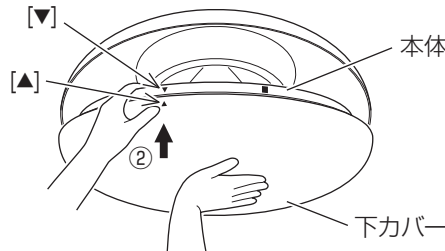
- 天井傾斜角45~55度：全高=1000以上
- 天井傾斜角30度：全高=700以上
- 水平天井の場合：全高=413~2000

7 本体到下カバーを取り付ける

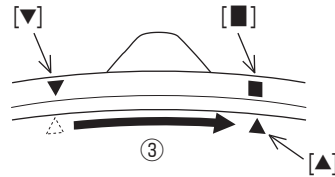
- ① 上カバーを本体に引掛ける。



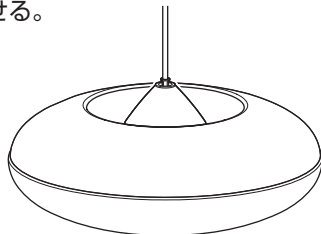
- ② 本体に手を添え、下カバーの▲印を本体の▼印に合わせる。



- ③ 下カバーを本体に押しあて ■印まで右に回す。
・取り付け後、下カバーが上下に動きますが、取り付けに問題はありません。



- ④ 上カバーを本体にのせる。

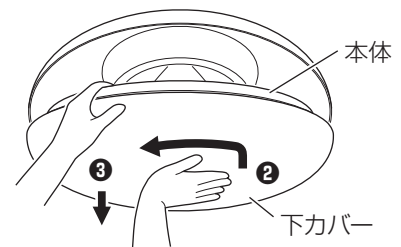


⚠ 注意

- ❗ 必ず守る 下カバーは確実に取り付ける
落下してけがの原因となることがあります。

下カバーの外しかた

- ① 上カバーを本体に引掛ける。
☞ 左記手順①参照。
- ② 本体に手を添え、下カバーを持ち上げ止まるまで左に回す
- ③ 下カバーを支えながら外す



- 取り付け後、灯具の傾きが気になる場合は、☞ 取扱説明書7ページ「器具の傾き調整について」の項を参照し、調整してください。